

地方公共団体金融機構

I 法人の概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 東京都千代田区日比谷公園 1 番 3 号 市政会館
- 2 設立年月日 平成 20 年 8 月 1 日
- 3 代表者 理事長 瀧野 欣彌
- 4 出資金 16,602,100 千円
- 5 北九州市の出資金 93,000 千円（出資の割合 0.6%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	5 人	0 人	0 人	5 人
非常勤	2 人	0 人	0 人	2 人
職員	90 人	0 人	0 人	90 人

※ 職員数のみ、平成 28 年 4 月現在

II 平成 27 年度事業実績

1 貸付業務

(1) 貸付けの概況

① 長期貸付及び同意・許可前貸付

長期貸付については、8,960 件、1 兆 8,607 億 85 百万円の貸付けを行った。

② 短期貸付

短期貸付については、貸付けを行わなかった。

③ 受託貸付（公有林整備事業及び草地開発事業への貸付け）

㈱日本政策金融公庫から委託を受けて行った受託貸付については、23 億 45 百万円の貸付けを行った。

(2) 元利金回収及び貸付残高の状況

長期貸付については、定期償還として元金 427,471 件、1 兆 6,256 億 86 百万円、利息 486,517 件、4,040 億 77 百万円を収納した。

また、繰上償還として元金 240 件、82 億 16 百万円及びこれに伴う利息 240 件、7 百万円を収納した。

平成 28 年 3 月末における公社貸付を含む長期貸付残高は 240,545 件、23 兆 6,645 億 12 百万円である。

また、平成 27 年 3 月末における受託貸付残高は 21,677 件、3,027 億 90 百万円である。

2 地方支援業務

地方公共団体が民間金融機関等からの資金調達を効率的かつ効果的に行えるよう、地方公共団体のニーズにあわせて、人材育成、調査研究、実務支援、情報発信の 4 つを支援の柱とする地方支援業務を実施した。

① 人材育成

地方公共団体に機構職員を講師として派遣し、個別の要望に応じたテーマで講義を行う出前講座を99箇所で開催した。

機構が主催する資金調達に必要な入門的な金融知識の習得を目的とした資金調達入門研修を全国10箇所で開催したほか、資金運用に必要な入門的な金融知識の習得を目的とした資金運用入門研修を全国3箇所で開催した。また、資金調達に携わる職員を対象とした実務的な研修を初めて開催した。

市町村職員中央研修所及び全国市町村国際文化研修所との共催により資金調達等に関する基礎的な知識の習得を目的とした研修を7月と9月の2回開催した。

② 実務支援

地方公共団体の資金調達等に関する個別の課題解決に向けた助言等の支援を実施するため、金融に関する専門知識や実務経験を有する自治体ファイナンス・アドバイザーにより、84件のアドバイスを実施した。

地方公共団体からの要望を踏まえ、地方公営企業会計の適用拡大や経営戦略策定に関しては、都道府県等が実施する市区町村等を対象とした研修会等に公認会計士を派遣し、地方公会計制度に係る統一的な基準への円滑な移行に関しては、都道府県等が実施する市区町村等を対象とした研修会等に公認会計士を派遣するとともに、地方公共団体情報システム機構との連携のもとでの共通のソフトウェアの提供により支援を行った。

③ 調査研究

地方公共団体の資金調達に関する調査研究を行い、その成果を地方公共団体に還元した。また、東京大学と共催でフォーラムを3回開催し、うち1回は地方都市（名古屋市）でJMFセミナーと併せて開催した。また、第二期フォーラムの総括として第3回シンポジウムを開催した。

④ 情報発信

地方公共団体が資金調達を行う際に有益な経済・金融データ、金融知識、参考事例をホームページ、冊子、研修などを通じて、活用方法も含め、提供した。また、金融・債券の基礎知識を学ぶことができるEラーニング動画の視聴サービスを開始した。

また、ファイナンス（資金調達等）に関して、工夫をして取り組みを行っている地方公共団体を表彰することにより、担当職員の意識向上を図るとともに、その取組事例を全国の団体に対し広く周知を図り、地方公共団体全体のより良い資金調達等につなげるため、「地方公共団体ファイナンス表彰」制度を平成26年度に引き続き実施し、4団体を表彰した。

3 資金調達業務

平成27年度の資金調達総額は2兆200億円（発行価格ベース。以下同じ。）である。

地方金融機構債（政府保証のない債券）の発行総額は1兆2,650億円であり、その内訳は10年債2,550億円、20年債1,350億円、5年債200億円、スポット債として2年債250億円、FLIP2,570億円、MTNプログラム1,875億円（円換算後）となっている。なお、地方公務員共済組合連合会の引受けによる債券の発行額は10年債3,340億円、20年債515億円となっている。

その他、長期借入金350億円の借入を行っている。

また、公庫から承継した債権の管理を円滑に行うため、既往の政府保証債の借換えについて、政府保証債10年債5,000億円、同8年債1,000億円、同6年債1,200億円を発行している。

この結果、平成27年度末において地方金融機構債及び政府保証債の発行残高は、19兆7,996億円（額

面ベースでは、19兆8,103億円)、借入金の借入残高は長期借入金1,205億円となっている。

4 公営競技納付金の概況

平成27年度における公営競技納付金(平成26年度開催分に基づく納付金)は、29億93百万円であった。

なお、納付団体数は46団体で、公営競技の開催権を有する団体(197団体:平成26年度)の23.4%であった。

Ⅲ 平成27年度決算

1 貸借対照表

平成28年3月31日現在(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
貸付金	23,664,512	債券	19,799,634
有価証券及び現金預け金	946,611	借入金	120,500
金融商品等差入担保金	16,277	金融商品等受入担保金	129,509
その他資産	11,550	その他負債	10,345
有形固定資産及び無形固定資産	4,420	賞与引当金	52
		役員賞与引当金	7
		退職給付引当金	33
		役員退職慰労引当金	9
		地方公共団体健全化基金	920,287
		基本地方公共団体健全化基金	920,287
		特別法上の準備金等	3,446,803
		金利変動準備金	1,760,000
		公庫債権金利変動準備金	1,638,492
		利差補てん積立金	48,341
		負債の部合計	24,427,184
		(純資産の部)	
		地方公共団体出資金	16,602
		利益剰余金	137,900
		一般勘定積立金	137,900
		評価・換算差額等	8,018
		繰延ヘッジ損益	8,018
		管理勘定利益積立金	53,666
		純資産の部合計	216,187
資産の部合計	24,643,371	負債及び純資産の部合計	24,643,371

2 損益計算書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	407,972
資 金 運 用 収 益	404,858
役 務 取 引 等 収 益	108
そ の 他 経 常 収 益	3,005
地方公共団体健全化基金受入額	2,993
そ の 他 の 経 常 収 益	12
経 常 費 用	239,039
資 金 調 達 費 用	230,505
役 務 取 引 等 費 用	324
そ の 他 業 務 費 用	4,405
営 業 経 費	3,803
経 常 利 益	168,933
特 別 利 益	528,211
公庫債権金利変動準備金取崩額	520,000
利差補てん積立金取崩額	8,211
特 別 損 失	666,947
金 利 変 動 準 備 金 繰 入 額	220,000
公庫債権金利変動準備金繰入額	146,947
国 庫 納 付 金	300,000
当 期 純 利 益	30,197

IV 平成 28 年度事業計画

- 1 平成 28 年度における貸付金は、1,690,000 百万円を予定している。
- 2 平成 28 年度における貸付回収金は、1,665,967 百万円を予定している。
- 3 平成 28 年度における資金調達は、非政府保証の地方金融機構債（公募債及び地方公務員共済組合連合会の引受による債券）1,370,000 百万円、長期借入 30,000 百万円、政府保証機構債の発行 600,000 百万円、合計 2,000,000 百万円を予定している。
- 4 平成 28 年度における債券償還金は、1,847,229 百万円を予定している。
- 5 平成 28 年度における地方公共団体の資金調達に関する支援業務として、地方公共団体のニーズにあわせて、人材育成、調査研究、実務支援、情報発信の実施を予定している。
- 6 平成 28 年度において、株式会社日本政策金融公庫から委託を受けて行う公有林整備及び草地開発のための貸付契約額は、2,355 百万円を予定している。

V 平成 28 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	377,972
資 金 運 用 収 益	375,057
貸 付 金 利 息	374,427
有価証券利息及び預け金利息	6
そ の 他 の 受 入 利 息	624
役 務 取 引 等 収 益	103
そ の 他 経 常 収 益	2,812
地方公共団体健全化基金受入額	2,800
そ の 他 の 経 常 収 益	12
経 常 費 用	219,653
資 金 調 達 費 用	211,475
債 券 利 息	210,886
借 入 金 利 息	590
役 務 取 引 等 費 用	515
そ の 他 業 務 費 用	4,035
営 業 経 費	3,629
人 件 費	933
業 務 費	1,528
そ の 他 の 営 業 経 費	1,168
経 常 利 益	158,319
特 別 利 益	427,330
公庫債権金利変動準備金取崩額	420,000
利差補てん積立金取崩額	7,330
特 別 損 失	559,521
金利変動準備金繰入額	220,000
公庫債権金利変動準備金繰入額	139,521
国 庫 納 付 金	200,000
当 期 純 利 益	26,128

VI 役 員 名 簿

平成 28 年 4 月 1 日現在

役 職 名	氏 名	備 考
理 事 長	瀧 野 欣 彌	地方公共団体金融機構理事長
副 理 事 長	遠 藤 寛	地方公共団体金融機構副理事長
理 事	杉 村 栄 一	地方公共団体金融機構理事
理 事	成 田 康 郎	地方公共団体金融機構理事
〃 (非常勤)	吉 武 準 一	地方公共団体金融機構理事 (非常勤)
監 事	平 口 愛 一 郎	地方公共団体金融機構監事
〃 (非常勤)	浜 川 雅 春	地方公共団体金融機構監事 (非常勤)